



TOPICS

- ・ 秋季リーグ戦日程決定！
- ・ 九州遠征
- ・ 夏季練習を振り返って
- ・ 関関戦の歴史
- ・ 総合関関戦
- ・ 4年生特集
- ・ 5リーグ対抗戦
- ・ 編集後記



# 平成26年度秋季リーグ戦日程決定！

月	日	曜日	時間	対戦校	球場	月	日	曜日	時間	対戦校	球場
8	30	土	9:30	開会式	わかさスタジアム 京都	9	29	月	時間未定	対立命館大学3回戦	南港中央
9	6	土	13:00	対京都大学1回戦	ほっともっと フィールド 神戸	10	5	日	13:00	対同志社大学1回戦	ほっともっと フィールド 神戸
	7	日	10:30	対京都大学2回戦			6	月	10:30	対同志社大学2回戦	
	8	月	時間未定	対京都大学3回戦			7	火	時間未定	対同志社大学3回戦	
	15	月・祝	13:00	対関西学院大学1回戦	阪神甲子園		11	土	13:00	対近畿大学1回戦	皇子山
	16	火	13:00	対関西学院大学2回戦			12	日	10:30	対近畿大学2回戦	
	17	水	時間未定	対関西学院大学3回戦			13	月・祝	時間未定	対近畿大学3回戦	
	27	土	10:30	対立命館大学1回戦	南港中央	15	水	時間未定 (試合終了後)	閉会式	わかさスタジアム 京都	
	28	日	13:00	対立命館大学2回戦							

## 夏季練習を振り返って

春学期を終え、1日中野球に集中出来る期間がやって来ました！7月下旬は試験期間と重なり、勉強との両立は大変でしたが、8月からの高槻練習では、すでに身体を万全な状態にすることができたため、実戦練習に早い段階から取り組むことが可能となりました。また、自主練習期間明けには新コーチとして、OBの小田洋一氏(S59入)を迎え、チームの雰囲気はより活気づいています。

今年の高槻での練習は二部に分かれ、効率の良い充実した練習を行うことが出来ました。下級生の活躍が多く見られ、チーム力の向上、底上げにつながったように感じます。オープン戦は、天候不順により数試合が中止となりましたが、4日間の九州遠征やリーグの代表に選出された選手5名は台湾遠征に参加するなどもあり、今までと異なる場所で自分たちの力を試すことができたのではないかと思います。例年とは大きく変化した今年の夏。この夏の成果を「優勝」という形で証明します。



# 総合関関戦

～リーグ戦の雪辱果たせず～

6月15日(日)、高槻第3グラウンドにて総合関関戦が行われました。今年で37回目となる伝統の一戦。初回、先発・水師(経2・大社)が先制点を許すと、その後も得点を重ねられてしまいます。継投した吉川(文2・関大北陽)、佐々木裕(商4・今治西)が継投するも本調子を出すことができず、6回までに8失点。4番手としてマウンドに上がった福田(人間2・興國)が関学打線の勢いを食い止め打撃陣の援護を待ちます。6回裏、二死一塁から、永岡、藤嶋の連打でようやく1点。7回にも、仲尾(文4・上宮太子)の左前適時打でさらに1点を返します。しかし反撃も及ばず、2-8で敗北を喫しました。関西大学体育会としても、15勝19敗3分と今年も関西学院大学に敗れ、5連覇を許してしまう結果となりました。来年こそは関西大学体育会の意地をみせたいと思います!



# 5リーグ対抗戦

6年ぶり7度目の優勝

準決戦〇5-3 対近畿学生

決勝〇4-3 対阪神学生



## 5リーグ対抗戦選出メンバー

【投手】 畑瀬聡史(政策4・関大北陽)

石田光宏(経3・近江)

【内野手】 柿山訓宏(人間3・岡山学芸館)

永岡駿治(経2・報徳学園)

【外野手】 藤嶋宏俊(人間4・神港学園)

山口晃平(政策4・東福岡)

6月27日(金)～29日(日)の3日間、わかさスタジアム京都にて、関西オールスター5リーグ対抗戦が行われました。関大からは6名が選出。藤嶋、山口は2試合ともに先発出場を果たし、適時打を放つなどチームの勝利に貢献。決勝戦では畑瀬、石田がピンチの場面で登板すると、圧巻の投球で相手打線を封じ、柿山は代打で安打を放つ活躍、永岡も守備での出場を果たすなど、6名全員が出場しました。また、決勝戦は部員全員で球場に駆け付け、代表に選ばれた仲間達を応援しました。関西学生野球連盟は、阪神大学野球連盟を相手に4-3で見事優勝し、明治神宮大会出場をかけた関西代表決定戦のシード権を獲得!有利となったこの機会を逃さないためにも、秋季リーグ戦は必ず優勝します。

# 九州遠征

日付	対戦校	スコア
8月11日(月)	西部ガス	△1-1
8月12日(火)	九州産業大学	●0-1
8月13日(水)	九州共立大学	●0-3
8月14日(木)	福岡工業大学	△1-1

8月11日(月)～14日(木)の4日間の九州遠征は台風接近により、試合が行えるか心配されましたが、全試合予定通り行うことができました。

初日の西部ガスや最終日の福岡工業大学との試合は、緊迫した投手戦の末、引き分け。他2試合は打撃陣が援護できず敗戦。投手陣は粘り強い投球で順調な仕上がりをみせてくれましたが、打撃陣は4試合で合計得点が2点と奮起しませんでした。開幕戦へ向けて調子を上げてくれることを願います。

まだまだ課題の残る結果となっただけに、この4日間選手一人ひとりに課題が見つかり、非常に中身の濃い遠征となりました。関大野球部には九州出身の選手も多く、久しぶりの故郷の空気に喜びを感じていたようです。今回の経験を活かし、一層練習に励みます。



## 江口 雅治(人間3・長崎南山) ～九州出身者の感想～

九州遠征を通して、関西とは違った野球スタイルや、レベルの高い野球を肌で感じ、リーグ戦に向けて、レベルアップしなければならないと実感しました。

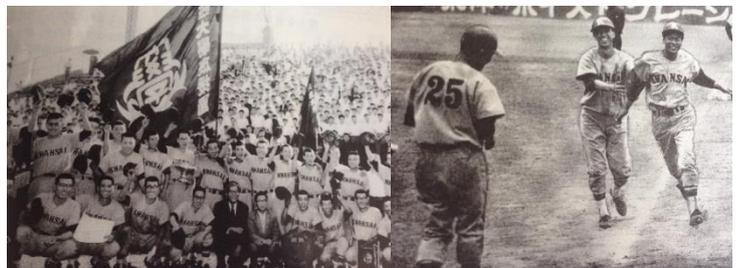
また、私自身九州出身であり、懐かしさを感じながらプレーすることができ、とても良い経験になりました。九州遠征で学んだことを活かし、リーグ戦では全国制覇に向けて少しでもチームに貢献できるように頑張ります。

# 関西大学野球倶楽部

## ～関関戦の歴史～

創部100周年を迎えるにあたり、「伝統の一戦」として親しまれている関関戦について紹介したいと思います。

関西学院大学との対決である関関戦は、関西六大学野球リーグが開幕した昭和6年秋から行われており、東の早慶戦に次ぐ大きな対抗戦として全国的にも名が知れ渡っています。現在は主に阪神甲子園球場で行われていますが、平成14年までは日生球場や阪急西宮スタジアムなどで開催されていました。現在までの通算成績を調べてみたところ、257勝197敗11分と関大が勝ち越していましたが、近年は接戦をものにできず、3季連続で勝ち点を落とす悔しい結果となっています。リーグ優勝するための大きな鍵となる一戦であるため、今季こそは勝ち点を挙げたいと思います。



# ～ラストシーズンにかける想い～

日頃から非常に仲が良く、オフの日も常に一緒に行動することが多い今年の4年生。一学年44名と関大野球部史上最も多い部員数でしたが、下級生の頃からミーティングでお互いを指摘し合い、意見を言い合うことで結束を強め、同じ目標に向かって邁進してきました。仲間でもあり、ライバルでもある、切磋琢磨できる関係です。2年生の秋季新人戦では全員の力で優勝を掴み取り、喜びを分かち合いました。

今年は、就職活動でそれぞれ悩みを抱えた時も、4年生同士助け合いながら、乗り越えてきました。そして現在は、秋季リーグ戦に向け、4年生全員で練習の補助や後輩指導を積極的に行っています。残り少ない野球部での生活を、どのようにすればチームのためになるのかを考えながら、行動しています。今回は、4年生の中から各ポジションの代表選手3名に「4年間の振り返り」や「秋季リーグ戦にかける想い」など、現在の気持ちを聞いてみました！



## 投手・佐々木裕弥(商4・今治西)

関西大学野球部での4年間で、チームにおいての自分の存在を大切にしながらやってきました。大学野球は先輩として3学年、後輩として3学年の部員と関わりがあり、たくさんの選手のプレーを見て学び、自分のものにしようと日々練習を積み重ねてきました。自分がないものを見つけることができた有意義な4年間でした。最後のリーグ戦ではチームの為に、4年生として全力を尽くします！

## 内野手・仲尾淳志(文4・上宮太子)

関大野球部での出会いすべてが私にとっての思い出です。私は学年の責任者を任せられ、人を束ねることの難しさなどから4年間で人間的にも成長することができました。仲間と競い合い、厳しい練習の中では鼓舞し合い、苦しいことも乗り越えてきました。約160名という多くの部員の中で関大野球部でしか経験できないこと、4年間培ってきたものが私にとっての財産です！



## 外野手・青木拓己(商4・関大北陽)

私たち4年生にとって最後のリーグ戦への思いは非常に強いです。入部以来、あと一歩のところまで優勝を逃し続けているので、今年こそ部員全員が一丸となりチームの目標である「全国制覇」を成し遂げます！個人的にも下級生のときから期待してもらっている中で結果が出ず、悔しい思いをしているので、最後のリーグ戦では走攻守すべての面で持ち味を出し、チームに貢献したいと思います。最後の最後まで全力プレーで戦い、勝って笑いたいと思います。ご声援よろしくお願いします。



## 編集後記 マネージャー・4年生

今回の奪首×Dash第19号はいかがでしたでしょうか？私達もラストシーズンに向け、毎日充実した日々を過ごしております。部員一同、全国制覇に向け、チーム一丸となって戦っていきたく思います。今シーズンも温かいご声援、よろしくお願い致します。

左から北田 えりか(法4・関大北陽)、平尾千尋(商4・開智)、土本侑果(総情4・大阪桐蔭)

